

セーフコミュニティいずみおおつ

みんなでつくる
安全・安心なまち第
10
回分野別対策委員会にて
時間をかけて地域課題を検討

対策委員会では
優先課題の検討が続く

3月30日に第5回分野別対策委員会を開催しました。

会議は3対策委員会の合同で行われ、推進協議会会長である伊藤市長も出席しました。冒頭、対策委員会全体の進捗状況について確認し、その後、各対策委員会に分かれて、ワークショップを行いました。

ワークショップでは、前回に続き、対策委員会としての優先課題を検討しました。優先課題の設定は、今後の活動の方向性を決めるにあたり重要なポイントとなるため、時間をかけた議論となります。年度末での開催にも関わらず、多くの委員が出席し、さまざまな視点から活発な議論が交わされました。

推進協議会を開催

26年度の活動を総括

3月31日、セーフコミュニティいずみおおつの推進母体で



推進協議会の様子

ある推進協議会の第3回会議が開催されました。

会議では、平成26年度の本市セーフコミュニティの総括や11月以降活動を進めている分野別対策委員会の現況報告、普及啓発活動や基金などについて話し合われました。

セーフコミュニティいずみおおつ啓発物品を作製

セーフコミュニティいずみおおつの普及啓発活動の一環として、マグネットシートを作製しました。公用車10台に装備し、セーフコミュニティの広告塔として市内・市外を走っています。



「笑顔をつくらう」のキャッチフレーズが入ったマグネットシートと車に貼ったイメージ

対策委員会のご紹介

「自殺予防対策委員会」

自殺予防対策委員会は、人権啓発推進協議会や泉大津市医師会、大阪府和泉保健所など15人

■ 外傷による死亡者数の推移（平成20年～24年）（ ）内は65歳以上の内数

死亡原因	死亡者数				
	H20	H21	H22	H23	H24
不慮の事故	21 (14)	18 (13)	13 (8)	14 (9)	17 (12)
交通事故	3 (0)	7 (3)	3 (2)	3 (1)	5 (1)
転倒・転落	5 (4)	4 (4)	2 (1)	2 (0)	1 (1)
不慮の溺死及び溺水	4 (2)	3 (2)	1 (1)	6 (6)	0 (0)
不慮の窒息	7 (7)	4 (4)	3 (3)	1 (1)	7 (7)
煙、火及び火災への曝露	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
有害物質による中毒および有害物質への曝露	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
その他の不慮の事故	1 (0)	0 (0)	4 (1)	1 (1)	4 (3)
自殺	25 (8)	12 (2)	11 (4)	19 (6)	14 (4)
他殺	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)
その他の外因	4 (4)	1 (1)	5 (2)	3 (2)	2 (0)
合計	50 (26)	31 (16)	30 (14)	36 (17)	33 (16)

問合 危機管理課（市役所4階）

の委員で構成しています。外傷による死亡の中では、「自殺」によるものが最も多く（左図）、幅広い年齢層において死亡原因の上位にあること、市民アンケートでは自殺に関する地域活動に取り組んでいる人は約1割程度であったことなどから、自殺予防を重点項目として、本委員会が設置されました。

※出典：人口動態統計

泉大津の皆さんの活発な議論に注目！

対策委員会の会議も5回を重ね、議論の内容も次第に具体的になってきました。泉大津の安全のために日ごろからご尽力されている方がたが集まり、泉大津市をより安全にするために活発に話し合っておられる様子は頼もしく、どんな活動になっていくのが楽しみです。

また、推進協議会でも、地域のキーパーソンの皆さんが、さまざまなアイデアや意見を出されています。これからの「オール泉大津」としての展開が楽しみです。

JISC 代表理事
白石陽子氏のコメント

